

富豪50人資産48%増

米経済誌『フォーブス』の調査(2021年版)「日本長者番付」によると、日本のビリオネア(資産10億ドル以上)を含む富豪上位50人の資産が合計2490億ドル(約27兆円)となり、昨年の1680億ドルから48%増えたことがわかりました。新型コロナウイルスの感染が拡大する中、日本でも富の一極集中が急激に進んでいます。

『フォーブス』日本長者番付

『フォーブス』によれば、今回の番付で50位の富豪の保有資産が11億5000万ドルとなり、初めて10億ドルを超えました。昨年の50位の資産額は8億1000万ドルでした。日経平均株価が前年比で約54%上昇(20年度期末時点)したことが影響しました。

保有資産額1位となったのはソフトバンクグループの創業者、孫正義氏。ランク入りした50人の中で最も大きく資産を増やし、資産額は昨年の2.2倍の約444億ドルとなりました。

資産額2位となったのは、過去2年間トップにつけていたファーストリテイリングの柳井正会長兼社長。資産は昨年の1.9倍に増え、約420億ドルとなりました。

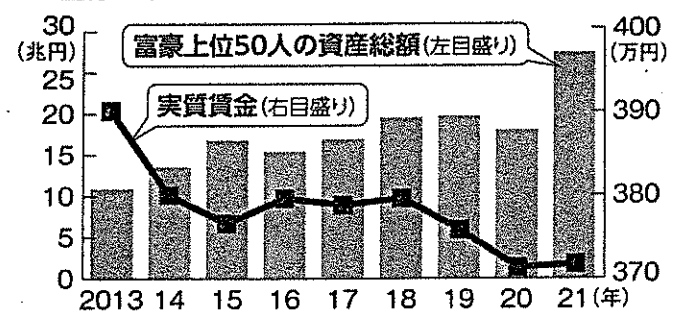
0億ドルとなりました。(表)

ランキングに入った富豪のうち5人は1年間で資産を倍以上に増やしました。その1人が、今回始めてトップ5に入った日本電産の創業者、永守重信氏。資産額は90億ドルとなりました。

資産の増加率で50人中トップとなったのは中古品売買アプリ、メルカリの創業者、山田進太郎氏。資産は昨年の2.6倍に増え、22億ドルでした。2013年と比べると、富豪上位50人の資産総額は約16.5兆円も増えています。他方で労働者の実質賃金(年額)は18.4万円減りました。安倍晋三・菅義偉政権の8年間で貧富の格差が大きく広がりました。(グラフ)

コロナ下 進む富の一極集中

富豪上位50人の資産総額と実質賃金の推移



富豪の保有資産は米誌『フォーブス』資料から作成。実質賃金は毎月勤労統計の実質賃金指数を利用。ただし、2021年は1、2月実績からの推計値

日本の富豪上位10人(2021年)

順位	氏名・肩書	資産額(前年比・倍)
1	孫正義ソフトバンクグループ会長兼社長	4兆8920億円(2.2)
2	柳井正ファーストリテイリング会長兼社長	4兆6270億円(1.9)
3	滝崎武光キーエンス名誉会長	2兆8420億円(1.3)
4	佐治信忠サントリーホールディングス会長	1兆690億円(1.1)
5	永守重信日本電産会長	9920億円(2.5)
6	高原豪久ユニ・チャーム社長	8810億円(1.4)
7	三木谷浩史楽天グループ会長兼社長	8260億円(1.4)
8	似鳥昭雄ニトリホールディングス会長	5730億円(1.3)
9	重田康光光通信会長	5620億円(1.1)
10	毒島秀行SANKYO会長	4850億円(1.1)

米誌『フォーブス』などから作成